

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	15			
	②	職員の配置数は適切であるか	14			マンツーマンを基本にしているの、個別課題や学習タイムを児童に合わせて行える
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	1		室内は絨緞敷きで段差もなく、バリアフリー化している。階段は手すりがあるが段差が大きめ
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	15			支援計画を中心にPDCAサイクルに従って行動している。その他業務は職員がマニュアルを作成してそれに沿って動いている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	15			参考にしていきたい
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	14	1		HPで毎年公表している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	13	1	1	第3者評価の仕組みはないが、地域や実習関係の大学などでの評価をいただいている
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	1		年数回、コンチェルトでの研修会を行って支援の方法や法律、支援計画に関して等学んでいる。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	15			家族の要望も聞き取って支援計画を作成しているが、研修を行う中で現在は、職員全員がアセスメントを担っている
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	15			各ステージごとの検査を行うと共に、病院等からの検査資料も活用している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	15			通常の集団活動はリーダー会議で行っているが、長期休みの特別プログラムはスタッフ会議で全員で意見を出し合い考えている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	15			通常の集団活動はリーダー会議で行っているが、長期休みの特別プログラムはスタッフ会議で全員で意見を出し合い考えている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	15			スタッフ会議で意見を出し合い、決めている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	15			活動前のミーティングを全員で行っている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	15			気付いた点などはリーダー(担任)を中心に聞き取っているが、参加した全員も、終了後に各児童の記録を書いている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	14			気付いた点などはリーダー(担任)を中心に聞き取っているが、参加した全員も、終了後に各児童の記録を書いている

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	15			担当者は、担当児の児童記録を客観的に書くが、職員も日誌に内容を記録している
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	14			担当者は定期的に担当児のモニタリングを行っており、支援計画に反映させている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	15			発達障害の専門書や心理担当者の意見を参考に、基本活動も参考にしながら活動を設定している
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	14			グループの担任や、施設長などとともに、子どもの担当者も一緒に参加している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	15			親を通して行う場合と、担任やコーディネーターと直接行う場合がある
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	13	1		病院の紹介や依頼を行ったり、資料を作成して連携会議に参加するなど、よりよい方法を考えている
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	15			作成した発達状況資料や支援計画などを園などにも渡すと共に、可能な時には訪問して話し合っている（2020年度は訪問できなかった）
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	15			親を通して情報を伝える場合もあるが、多くは相談支援事業所を通して行う
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	14			センターでの研修には参加しているが、代表が各所で研修会や講習会等の講師を行っているので、内部研修も有益である
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12	1	2	交流する機会を作ってきたが、2020年度は外部との交流が難しかった
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	13	1		子ども部会にも参加しているが、2020年度はコロナ禍のため集まるのが難しかった
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	15			毎日の連絡帳のほか、その日の様子を迎えにきた親に伝えたり、親からの相談も聞いている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	15			保護者を対象に学習会を毎年行っているが、2020年度はコロナ禍のため中止した
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	15			契約の親にはしっかり説明している
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	15			個別相談の依頼も多い。できるだけ早めに相談に応じ、アドバイスのほか、必要な場合は病院等の外部への紹介も行っている
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11	3		今年度はコロナ禍のため難しかったが、例年は父母の懇談会を企画して、話し合ったり、グループのビデオを見たりしていた。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14			相談などは迅速に対応し、時間を取って話を聞いているが、子どもの状況によっては事業所の電話のほかに、緊急電話も用意して緊急の場合にも対応している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14			「コンチェルトだより」を紙ベースで発行して渡しているが、HPにも載せている。お知らせや行事に関してなどは、手紙等を渡している
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	14			充分注意し、職員や実習生たちにも徹底している
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14			親が送迎しているため、毎回、意思の疎通ができるとともに、親の気持ちや予定等も聞きとれる
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	12	1		ハロウィンやクリスマスなど、地域の応援をいただいたり、地域に発信したりしているが、2020年度は交流が難しく、物を介したやり取りであった。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	13			子どもたちの玄関や、職員の部屋の壁に貼ってある。子どもたちにはSSTの練習などを通して危機管理の大事さを伝えている
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14			職員には火災などでの避難の説明を毎年聞いてもらっている。子どもたちへは、危機管理SSTや避難訓練も行っている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14			家族や地域、学校等との交流の多い事業所のため、親や職員の虐待はないが、代表が虐待防止法や差別解消法の講師をしているため、内部研修や親への研修も行っている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	13			これまで身体拘束の事例はないが、必要な場合は家族や医療とも相談して決める
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	13			通所前に親から聞き取って対応している
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	13			保険対応や、第1次医療への相談のケースは記録しているが、ヒヤリハット事例としてまだない。記録を心掛ける

○この放課後等デイサービス自己評価表は、放課後等デイサービスの事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。